

マインドコントロールを知る

～ 摂理の中のマインドコントロール

この文章はS-tation内【駅長日記】のマインドコントロールに関する連載を
プリントアウト用にまとめただけのものです。

【1】マインドコントロールとは？	1
【2】マインドコントロールは間接的にでもかけられるもの	1
【3】自分の心の状態を見る	3
【4】嘘が嘘ではなくなるとき	4
【5】真実が嘘になるとき	6
【6】摂理初期の心の状態	8
【7】競うことで効果はあがる	10
【8】メシヤを悟るメカニズム	12
【9】多勢の危険性	13
【10】迫害の概念	15
【11】仲間を敵に変えるとき	17
【12】仲間が敵に変わるとき	19
【13】マインドコントロールを解くには	21
【14】あなたの人生はあなたのもの	24
・・・最後に・・・	26

【1】マインドコントロールとは？

私にできる範囲で説明できたらなと思います。

ちなみに私は評論家や研究者ではないので、一般的な心理学的見地や理論と違う点があるかもしれません。そこらへんはご容赦ください。

理論ではなく、私が経験したマインドコントロールについて（主に現役の摂理人にむけて）自分自身がどう思っていたのか、また今はどう思っているのか、マインドコントロールとはなんだったのかということ語りたと思います。

あまりにも長すぎるので何回かに分けますね。

まず私がマインドコントロールにかかっていた！と気づいたのは今年になってからのことです。

遅すぎです。摂理を出て4年たって初めて気づきました。

脱会支援をしているカウンセリング最中でさえ、「私はかかってなかった」と言い続けていました。

その原因はマインドコントロールがどういうものかということ知らなかったからです。

私は自分自身で決断して摂理を離れました。カウンセリングを一度も受けたことがなく、マインドコントロールに関して学んだこともありませんでした。

しかし徐々に様々な人の話、そしていろいろな書物を読んでいくにつれ、自分がマインドコントロールにかかっていたのだということに気づいていきました。

脱会支援をしながらたくさんの人たちと話し、そして自分の経験を語り、そのときの自分の思いを語っていくうちにきっと整理できていったんだと思います。

その整理に4年かかったということなんでしょうね。

だからもし今、自分で決断して摂理を出て行った人、毎日楽しく生活していて、充実していて、なんら悩みがないという人も、一回マインドコントロールという概念にふれてみてください。

決して無駄にはならないと思います。

マインドコントロールは簡単にいうと慣らされることなんだと思っています。

【2】マインドコントロールは間接的にでもかけられるもの

これからは摂理での具体的な例をあげながら書きたいと思います。

私はマインドコントロールという言葉も、ものすごく恐ろしいものにとらえていました。知らない間に暗示をかけられている、組織の意図する選択を知らず知らずのうちにしている、というマインドコントロールに対する説明が自分自身の経験にあてはまっていなかったのでしょう。

なぜなら摂理の人たちの言動ひとつひとつとっても「マインドコントロールをかけてやろう」なんて心があるように見えなかったからです。そしてそれは事実だったと思います。

現に私も指導者という立場で働いてきましたが、「マインドコントロールをかけてやろう」なんて思って話したことはありません。ひとりひとりを愛してきた自信はあるし、信仰でもって摂理におり、全てのことを行っていたと思っています。

ただそう思ってやってきたことが、実はマインドコントロールをかけるための手順とまったく同じだということなのです。

たくさんの摂理の人の人伝えで語られ実践されてきたことだから、直接かけられたとは誰も思っていません。ここが盲点です。

私たちは「マインドコントロールのかけ方」は習っていません。だからかかっていると思っていました。摂理の中でマインドコントロールなんて言葉は聞いたことがありませんでした。

ですが私たちは摂理でのありとあらゆる方法を、自分で考えたのではなく、ずっと先にきた人の真似をしてきたはずです。

それは認めますよね。指導者のいうとおりにしてきました。先輩の行動することを真似してきました。それが神様の考えだと言われていたからです。

自分よりもより多く神様の考えを持った人の真似をすることが摂理の中での善行です。

そしてその究極のモデルが、教祖チョンミョンソクだったはずです。

そして彼がマインドコントロールの手法を知っていたならば簡単な話です。

彼を信じるものは全員マインドコントロール下にあるということです。

(ちなみに彼が考えて手法を駆使したとは私は思っていません。おそらく統一協会で学んだのでしょ)

私たちが何か疑問があったときに、
悩みがあって進路をどうしようか迷ったときに、
行事を企画してそこに新入生を呼ぼうとしたときに、
人を伝道し、その人に御言葉を聞かせようとしたときに、
御言葉が理解できなかったときに、
どうしても導けない新入生がいたときに、
どうしろと言われました？必ず指導者に相談したはずです。

自分で判断したことがありますか？

自分でいろいろ考えたことはあったはずです。ですが最終的な答えを出すのは指導者です。指導者は過去聞いた話から、摂理の御言葉からありとあらゆる知識を総動員して話します。なので、だいたいどの指導者に聞いても同じ言葉が返ってきます。

それをずっと聞き続けていた私は、自分が指導者になったときに、当時指導者から聞いた通り、まったく同じことをついてくる人たちに言っていました。

社会人リーダー時代、人の相談にも多々のりました。

相談にこたえるためには、自分の知識や経験やらを総動員しなければいけません。

たぶん脳内ではそのような活動を行っているはずですが、

ですがそのときの私の知識の総動員は摂理での知識、常識のみだったと思います。

今までの自分の経験、知識が皆無ではありませんが、摂理常識を優先して問題を解いてきました。

他の指導者も同じだったはずですが。

【3】自分の心の状態を見る

私の心の中には今までの経験からの知識がたくさんあったはずですが、

ではなぜ摂理の常識だけで物事を考えるようになってしまったのでしょうか。

人は今までの経験や様々な失敗や成功や性格やらの情報を駆使して、考えたり行動したりしています。

例えば恋愛相談を友人からされたとき、自分の過去の経験、ドラマ・映画の情報、男とはこういう生き物だという認識、などいろいろなデータをひっぱりだしてきて、それをアウトプットしているはずですが。

自分自身の心の中を図書館とたとえ、様々な判断をするときに、図書館の中のあらゆる本を閲覧することで答えを導き出すとします。

私という図書館には「体育会で培われた知識コーナー」「音楽活動で培われた知識コーナー」「長女として培われた性格コーナー」「大学職員として培われた知識コーナー」「ほんのちょっとのお勉強コーナー」「しきり屋という性格コーナー」などたくさんたくさんあって、それぞれのコーナーにいるんな本が並んでいます。もちろん「摂理コーナー」もあり、御言葉本やお祈り本や教祖本があることでしょう。

摂理にいたとき、摂理の人から相談された私が真っ先に向かうのは「摂理コーナー」です。そこにおいてある本の中から何冊かを選び、いい言葉を引用して提供してきました。

さて、私の摂理時代は、毎日毎日摂理の中にどっぷり浸かってすごしました。

他のことを考える間もなく摂理に投資しました。毎日いくつもの御言葉を聞き、気がつけば賛美したりお祈りしたりしていました。

どんどん摂理コーナーの本がたまっていきました。

仕事中でもその日迎える新入生のことを考え、信仰の調子が悪くなった子のことを考えていました。

また夜に伝える御言葉のことを考え、教祖のことを考えていました。

そうやって日々生活するうちに、たぶん私の中の図書館には摂理本が増え始め、気がついたら図書館の1階から5階までが摂理コーナーで、6階の屋根裏部屋の狭い倉庫の中にその他の蔵書を入れてしまっていた状態だったんだと思います。

私が誰かの相談にのろうとしたときに、また私自身が判断しようとしたときに、図書を閲覧しようとして、図書館全体の中から選んだように見えて、実はほとんど摂理の本しか選んでいなかったということだったのだと思います。その頃の日々の生活は摂理コーナーの閲覧だけで事足りるようになっていました。次第に屋根裏部屋のことは忘れていきました。

そして、摂理に関することだけじゃなく仕事上の悩みも、友達の恋愛話を聞く時も、家族との話も、私は摂理コーナーの本しか使わなくなっていました。

マインドコントロールの状態ってこういうことなんじゃないかと思います。私の知らない間に心全部が摂理になっていっただけでなく、そのことに気づかず、その判断は自分の今までの人生経験の判断だと思っていたのです。しかもその判断には「神様の考え」というお墨付きがついていました。どの判断にも私はためらいなく「神様の考え」というはんこを押していきました。今思うと怖いのです。このエスカレートした考え方が、「自分たちの天国を守るためにサリンをまく」ということです。

ちなみに摂理コーナーの本はほとんどが伝聞の話です。教祖の話も御言葉も伝聞です。ですが摂理を出ようと考えない人たちは「私は先生を見てきた」「確かに摂理が真理だと実感した」と言います。それが嘘だとは言いません。言いませんが、偏ったものであることは確かです。なぜならそれらの経験さえも図書館の摂理本の中からの引用で得た経験でしかないからです。他のコーナーを探ることなく、手軽にとってこれる摂理コーナーの本しか使わなくなる。それが思考停止と言われる状況だといえると思います。

【4】嘘が嘘ではなくなるとき

摂理において嘘が嘘でなくなることがあります。これもマインドコントロールの影響だと思っています。

例えば人を誘うとき、サークルだと言って誘いましたよね。

実際はサークルじゃないと全員わかっているはずですが。サークルに慣れてきた人には摂理のバイブルスタディーの話をし、もうちょっと慣れた人には礼拝に出ようすすめます。

摂理のみなさんに問います。摂理はスポーツ・芸術サークルですか？

教祖がいる団体です。礼拝もあります。目的も伝道なのだから、間違いなく宗教団体ですよ。ね。

にも関わらず「サークルだ」と言って誘うのはなぜですか？

「最初から宗教団体と言っては誰も入らない」

「神様の歴史を広げるためだから仕方がない」という理由でしたよね。

そう思っていたからこそ、私も伝道の際に宗教団体だと明かした覚えはありません。

私の屋根裏部屋コーナーにはおそらく「嘘の勧誘は詐欺」という本があったと思います。

ですが1階から5階をしめる摂理コーナーにその本はなかった。

それどころか「伝道のためなら嘘をついてもかまわない」「それは嘘とは言わない、はかりごとというものだ」という本があったのです。

しかも一日の大半をとともに過ごす周りの摂理人みんなの図書館にこの本はあります。

だから摂理にいる間、嘘をついて勧誘することに私はなんの抵抗もなかった。

ですが、摂理を含むカルト宗教やマルチ商法や詐欺師以外のごく一般人の図書館には「嘘の勧誘は詐欺」という本があります。

みなさんの親御さんにも、みなさんの友人にも、みなさんが今まさに伝道しようとする人の図書館にもあるんです。

もしあなたが見事摂理に友人を伝道することができたとしましょう。

その友人はあなたとの人間関係や摂理の人たちの人なつっこい、そして優しい人柄などに心を奪われ、「嘘の勧誘は詐欺」という本をあなたと同様に屋根裏部屋に押し込んだ状態です。

そしてこれからあなたは長い時間かけてその友人の図書館を摂理に関する本で覆いつくそうとするし、そうなった友人を誇らしくも思うはずです。

なぜなら「図書館を摂理の本でいっぱいにすることが救いだ」という本が、あなたの図書館の最も目に付くコーナーに置かれているからです。

あなたの最初のひとつの嘘がたくさんの人の人生に影響を与えています。

それは当人だけでなく、家族や周囲の人をも巻き込んで。

このことについて考えたことがありますか？

また摂理の中であなたがどれだけ嘘をついているのか考えたことがありますか？

ないならば、参考までにととても恥ずかしいですが私がついていた嘘を一部あげましょう。

- ・ 新入生勧誘時にサークルと嘘をついた
- ・ 両親や職場や友人にスポーツサークルに入っていると嘘をついた
- ・ 教祖に会いに行った時に内緒と言われ、教会のメンバー全員に嘘をついた
- ・ 教会リーダーに「(信仰の)調子がとてもよさそうな波長を感じる」といわれ、ほんとはどん底だったが、みんなの前だったので彼女の立場を思い嘘をついた
- ・ 教祖に被害にあったにも関わらず、メンバーから教祖の行為を質問されたときに「そんなことするはずはない」と嘘をついた
- ・ 礼拝のために借りていた公民館のみなさんにも嘘をついて借用
- ・ 集団生活していた教会を借りているときも嘘をついて借用
- ・ 新入生が知らなくていいことは全て嘘をついた
- ・ 同様に、まだ若いメンバーが知らなくてもいいようなことは全て嘘をついた

全て救いという大義名分のための嘘です。
人間は何か大きな目的のためになら嘘をついてしまうんです。
そしてそれを許してしまうと世の中大変なことになってしまいます。

【5】真実が嘘になるとき

また逆に、真実を嘘にする仕組みも摂理にはあります。これも同じことです。

ある日突然思っても見ない事態が襲ってきます。

なんと自分の図書館に来る日も来る日も寄贈し続けてくれ、彼の書物で図書館はいっぱいになっているというのに、その彼、チョンミョンソクやその書物全てが偽物だと言う人がいるというのです。

図書館でとっている新聞までもそのように言っています。あなたはまずその新聞を誰の目にも触れないように隠すか焼いてしまいます。

そうじゃないと自分の中のほとんど全てのものが否定されてしまうんですから。

生活の中心であり、人生の全てをかけたものが否定されると、人はまず防衛するんだと思います。

自分が傷つかないようにするためには、その外部からの刺激を否定すれば簡単です。一番楽チンです。そうすることで長い年月を摂理に投資してしまった自分を防衛しているのです。自分が一生を捧げると誓った摂理が社会から否定されているならば、その社会が間違っているんだと思おうとする気持ちがあることもわかります。ですがそれは怠慢です。

これだけ大きなことなんだから、普通ならば自分の知識や経験全てを総動員して対処したり考えたりします。

ですが、すでに摂理コーナーの本でしか対処しなくなった人は、今回の報道にしても摂理コーナーのみで対処してしまいました。

あなたがたの摂理コーナーには摂理はカルト宗教だという本もなければ、教祖の性的行為を証明する本もありません。

それはあなたが被害にあっていないからです。その本を置いている図書館は、被害にあった人や、女性を教祖につなげる役割をはたしている人のみです。

あなた方の主張は「先生はそんなことしない」「私は先生を見てきた」です。

要するに

「自分の図書館に本がないから教祖の行為は事実ではない」

「そんな本が図書館にあるというのはとても信じられない。うちがないんだから嘘に違いない」というのがあなたがたの理論です。

どうでしょう？理論としてどうでしょう？これって成り立っていると思いますか？

そしてあなたがたの摂理コーナーにはこんな本が置いてあります。

- 「迫害があるものこそ本物の歴史」
- 「新聞やニュースは世間が騒ぐ問題が好き」
- 「新聞やニュースは時に嘘をでっちあげる」

しかし屋根裏部屋コーナーを見てみてください。きっとほこりにまみれたこんな本が見つかります。

「新聞やニュースの報道のほとんどはふつつ事実である」

だって今まで何十年か生きて来て、新聞という新聞、ニュースというニュースが取り上げてきたものの中で嘘っぱちってありました？私はそんな例を知りません。

戦時中ならいざ知らず、私も含めみなさん戦後生まれでしょう。

しかもマスコミに取り上げられたのは今回が初めてではない。日本だけをみても、10年近く前からずっと報道されているんです。

新聞、ニュースを作る人達はその人達の今までのたくさんの経験・知識の図書館からあらゆるものを引っ張り出して、またものすごくたくさんの図書館を訪れ、

そして教祖の行為を事実と認め、世に出しました。

それらが間違っていると主張する摂理の根拠はいったいなんなのでしょうか？

自分の図書館にその本がないという理由のみです。

またあなたのすぐ近くの図書館には教祖の行為をうったえる本があります。

実際そこを訪れなくてもいい、最近はネットだってあるんですから。

「そんな本はない」ではなく、その本、見ようとしてみてはいかがでしょう？

今回図書館の屋根裏にある本を偶然探し当てることができた人や、隣の図書館を見に行っただけの人、自分で判断し、摂理を出されました。

自分の中にその本を見つけることができなかつた人には、摂理コーナーの本を激増させるようなこんな指令が摂理からあつたはずですよ。

- 「この迫害をとおしてみんなの信仰をためしている」
- 「こういう大変なときこそ信仰を強めないといけない」
- 「もっと御言葉を聞いて信仰を強めないといけない」
- 「条件を立てて迫害が去るために祈らないといけない」
- 「今までの御言葉や経験で判断しなさい」
- 「先生は忙しくてとても被害を及ぼすような暇はない」
- 「迫害する人たちは裁かれる」
- 「ネットを見るな」
- 「NHKが放送してないから報道はデタラメ」

そういう本をたくさんたくさん摂理コーナーに増やして、そしてその摂理コーナーの本だけであなたが判断したのは

「報道は全て嘘」です。

あなたはたくさんの情報を得ているよう見えて、摂理に都合のいい情報しか蓄えていません。

そしてあなたがたは自分の全ての経験で判断したように見えて、実は「摂理コーナー」の本しか閲覧していないんです。

摂理が唯一の真理で、そして摂理を中心に生きるあなた方が「摂理コーナー」しか閲覧しないことは、あなたがたにとっては当然のことで、ここに書いてある言葉も響かないことでしょう。

たとえば統一協会の信者の方はあなたがたと全く同じで、「統一協会コーナー」しか閲覧しない人生を生きていらっしゃいます。

アレフ信者ばかり、親鸞会信者ばかりです。あなた方「摂理」だけがこのように行動しているではありません。カルト宗教はみんなそっくりです。

それでも「摂理」だけが唯一の真理だというならば、あなたはもっともっと「摂理」について検証する必要があります。そして検証しないならば、人にすすめる資格はありません。

報道が嘘で、迫害に対してさらに信仰を強めようと言っている摂理の全ての人たち。あなた方は「迫害に負けない自分」「がんばっている自分」に酔っていませんか？
どうかしっかりと物事の本質を見極める努力をしてください。

【6】摂理初期の心の状態

さて、ではなぜ最初はまったくなかったものなのに、自分の中に摂理コーナーを増やしていく結果となったのでしょうか。

そこにもマインドコントロールの巧みな仕組みがあります。

この段階の仕組みは2つあると思います。

「恐怖心をうえつける」方法と「向上心を促す」方法です。両極端に見えて、言葉をうまくコントロールして、その人をそこから離れられなくさせる、精神的に縛るという意味では同じです。

統一協会では自分がいかに罪な存在なのかという恐怖心を先に植えつけられます。

罪な自分をリカバリーさせようと統一協会に継続することになります。

摂理で訴えるのは向上心です。罪とまではいかなくても、まだまだ足りない部分がたくさんあり、もっと向上させることが必要だとときます。

自分の心を何かで満たしたい、何かに一生懸命になりたい、高めたい、という人にはもともと心に空きスペースがあるんだと思います。

そういう人には摂理の活動はすっと入り込みます。

そしてまた、スペースに何かを詰め込むことで満足するという性格の人が摂理には少なくありません。

ではその空きスペースになぜ摂理コーナーを設けることができたかです。まず最初にあなたが出会った摂理の人はとても魅力的だった、またはあやしい人ではなかったということです。その人と話しているうちに、そして行動をともにするうちに、このすてきな人たちのことをもっと知りたいと思うようになります。それが図書館に摂理スペースをもうけることなんだと思います。

そのスペースがしっかりできたと思った頃に摂理の人たちは聖書のお話を持ち出します。しかも話の前にはその話をする人がいかにすばらしいかということは何度も聞かされています。

あなたにはすでにその話をする人を肯定的に受け止める準備ができています。

「さんが好き」「さんを尊敬している」という情報がすでにあるからです。ちなみにある心理学の実験でも、ある人と会う前に、予めいい情報を与えた場合と、何もしなかった場合とでは、会った後の評価は、いい情報を与えたほうが高いという結果が出ています。

そんな状態で話される御言葉は普通に聞くよりもいいものにうつるはずですよ。

そして見事に一つ目の話があなたの摂理スペースに入ることになります。そのときに、まだ摂理初期のあなたは、他の一般常識のコーナーの本を探して考えることをします。

「カルト宗教団体に入ることの危険性について」

「カルト宗教とは何か」という本を探し当てるときもあるでしょう。

ですがその本に「壺を買わされればカルト宗教」「サリンをまくならカルト宗教」という言葉しかないならば、あなたはその本を閉じてしまいます。

そして摂理コーナーにこんな題名の本が加わります。「今自分が通っているここは大丈夫」。(どうぞ「カルト宗教とは？」のあなたの認識のために以下の項目をご参考ください。)

JSCPR 集団健康度チェック

<http://www.cnet-sc.ne.jp/jdcc/GHI/index.html>

時がたつにつれて何度か「カルト宗教」に関する本をひっぱりだすときもあるでしょう。しかしその回数は徐々に減っていきます。

そしてそのたびに「大丈夫だ」の本も増えていきます。

「摂理はカルト宗教かも」という検証は一切しないので、カルト宗教に関する知識は増えません。だからなおさら

「みんながいい人だから大丈夫だ」

「何よりも自分が楽しいから大丈夫だ」

といったものが増えていきます。

そしてその頃、摂理コーナーに「疑うことは悪」という本が入り、「最後まで話を聞けばわかる」という本も入り始めます。

これが 30 講論です。徐々にあなたが疑問に思うことの答えが 30 講論で得られ、その本が摂理コーナーに入っていきます。

どんどんマインドコントロールにかかっていきます。これを摂理では「霊的に成長する」と言います。

摂理の指導者ならば誰でもやったことがあることですが、30 講論を聞いた人に間接的に感想を聞き、その話に疑問を抱いていないか、摂理に対してひいていないかの調査をします。その結果、疑問を持っていることが判明したならば、次の講義でそれを解く努力をします。話を聞いている方はそんなこと知らないから、自分の疑問が御言葉で解けたと思います。今後御言葉を聞くことでどんどん解けるといふ錯覚を起こします。摂理人たちは意識せずにやっていますが、これもマインドコントロールです。

【7】競うことで効果はあがる

こんな調子でたくさんの摂理人と接し、御言葉をたくさん聞くことで、摂理スペースに本が入りきらなくなります。

その結果摂理スペースを広げます。友人スペースや家族スペース、バイトスペースが減っていったことでしょう。

ですが新しいスペースを広げ、そこにいろいろつめこむということが大好きな人は今後ともめどなく広がっていきます。

そうでもない人でも自分がまあ好意を抱いている人から「もっと広げたらいいよ」と言われ、少しずつ広げようとする人もいるでしょう。

あるとき自分と一緒にの時期に来た人が、べらぼうに摂理スペースを広げて行って、自分が知らないことも知っているとします。

あなたは自分より先に行かれてしまったと思うこともあるでしょう。

今までゆっくり摂理スペースを広げてきたけれど、焦りを感じることで自分も摂理スペースを広げようとがんばりはじめます。そうすると周りの人から「最近よくがんばってるね」「この調子だとすぐに成長するよ」と言われることが嬉しくなり、もっとがんばるようになるかもしれません。

ほめられればもっとがんばる、それが人間です。

そしてまた摂理にはそういう性格の人が集まっています。

これは決して摂理だけのことではないと思います。会社でも塾でもこのようなマインドコントロールは使われているはずで

競うことは悪くはありません。ですがどこで誰と何を競うかです。

献金に関しても同じです。同じくらいの社会人歴の人がたくさん出していて、自分が少しだったら恥ずかしいと思います。「もうちょっと出さなきゃ」と思います。

そうでないと、自分の生活の全てである摂理での居心地が悪くなるからです。

社会人みんなで献金をしようということになり、あなたと同じ年のAさんが10万円、あなたが1万円を出したとします。

指導者は決してあなたに対して「1万円？少ないわね」とか「もっと出しなさいよ」とは言いません。

だから私たちは献金を一度も強要されたことはないと言います。

ですが、指導者は全員集まったところでAさんが10万円も献金したことをことさら強調して話します。

「Aさんはすごい。信仰がいい」「決してお金を持ってるわけではないのにこんなに出してくれた」「まだ社会人になって間もないのに」などなど。

あなたはどんな気持ちがするのでしょうか？

摂理の中で「AさんはAさん、自分は自分」と考える人は少ないです。

人は褒められたいし認められたいもの。次回はもうちょっと多く出すはずで

そして一度出した金額を下げることもなかなかできません。

「あなた金額下げたわね」とは絶対に言われません。それをわかっているのに献金額を下げることはできません。なんと説明したらいいんだろう？プライドでしょうか？

そうやって年々献金額を増やしていく図式があります。

競争にもがいているのは一般メンバーだけではなりません。

教会指導者も同じです。

毎年年末に年間伝道数が教会ごとに発表されます。

たくさん伝道した教会リーダーは誇らしく感じますが、最下位リーダーはやはり恥ずかしい思いをします。

そんな教会はきっと「伝道、伝道」とお尻を叩かれたでしょう。

うちは毎年伝道1位になるような教会でした。誇らしく思いました。

しかし最下位の教会と同じく、来年もこの地位を下げたいけないと、やっぱりがんばりました。

結局比べて競うことで、誰しもががんばるようにうまくできています。

他人と競うということだけでなく、自分自身とうまく競わせるのも見たことがあります。それを祝福式で見ました。

2001年の祝福式に出た人から直接話を聞きました。相手が決まったあと、教祖が「お互いが伝道3人以上してないと認めない」と言ったそうです。

その後その子は早く結婚したいがためにものすごい伝道に励んでいました。命を救うため？自分の結婚のため？と私は当時摂理人ながら疑問を抱きました。自分自身と競うことでもマインドコントロールはより強く作動します。

【8】メシヤを悟るメカニズム

摂理では、自分が判断したように見えて、実は判断させられるような仕組みをとっている場合があります。その例にチョンミョンソクをメシヤと悟るときの例をあげます。

30 講論を聞いている間に教祖をメシヤと悟ると、そういう人たちから礼拝に出ることを許されます。

30 講論の中で講師は一度たりとも「チョンミョンソクはメシヤだ」とは言いません。それは意図的にそうしています。私も何度も言われてきたことだから間違いないです。ではなぜ人はチョン氏をメシヤだと思うようになるのか？それは 30 講論の巧みな進め方です。

まず初めに聖書は比喻で解かれているという説明があります。また聖書は本文だけでなく、その行間にいろいろなものがつまっているんだという話もされます。

それらを解いてくれる人がいて話を聞けることが幸せだという話まで持っていきます。

しばらくしてこの話をといた人がいて、その牧師さんはね・・・という話が出始め、この聖書の話はただ昔話を解釈しているのではなく、現在進行形で生きて話をしている牧師さんがいるということを知ります。

またしばらくしてイエス様の時代の話になり、イエスがまた来るという話が出始めます。その頃は「死んだ人だから来ない」と思っています。

しかししばらくしてメシヤというのがどんな人なのかという説明があります。今の時代にもこういう人がいたらいいのという話になります。

また後の話でイエス様のときはメシヤだとわからずに迫害してしまった。今の時代に来たら同じことをしてはいけないという話が出てきます。もしかしてメシヤってほんとに人の形をして、またイエス様と同じようにくるのか？と思いはじめます。

で、またチョン氏の話です。彼が起こした奇跡やら、彼の特徴などが話しに加わるようになります。

そこで、です。今まで聞いていたチョン氏の話と、メシヤの条件があるときぴったりと重なります。

それがあなたがメシヤを悟った時です。悟った？本当は話がかみあっただけです。

私が「チョン氏がメシヤなんですか？」と指導者に聞いたら「あなたがそう悟るならそうなんでしょう」という言葉が返ってきました。

だから私は自分で悟ったんだと思いました。悟らされる選択がされていたとは一度も気づきませんでした。

それに加え、日ごろのスポーツ活動や芸術活動において、30 講論を聞いたことでいろいろな成果が出始めます。

「成長した」という実感が誰にでもあったはずです。

当たり前です。それは摂理の中での話だからです。

「より摂理人に成長した」ということでしょう。

実際に成長した人もいたと思います。でも摂理の中だからこそ、より成長したように感じるし、自分は変えられたとってしまっただけです。

成長したと思っていたのは実際は「朱に交われれば赤くなった」だけだったような気がします。

ですが、「30 講論を聞いて実際に成長した」というスパイスを加えると、

教祖がメシヤだという思いも膨れ上がります。

摂理はマインドコントロールにかけようとあなた方を狙っていたのではないと言いました。ですが、この 30 講論や摂理メンバーになる過程には、明らかに意図的に教祖を悟らせよう、また摂理が真理であることを伝える仕組みがあります。

あなたに 30 講論を伝えた人からはそのような戦略的なものは感じなかったと思います。

ですが、30 講論の教科書をあなたが持っていないことからわかるように、

30 講論は何十年も前からの口伝えです。

その一番最初の人にそのような狙いがあれば、その狙いもまたあなたに伝わるのです。

あなたが自分で行ったと思っている選択や判断は、

知らず知らずのうちに摂理の都合のいい方向へ導かれていたということです。

【 9 】多勢の危険性

集団心理という言葉があります。

「社会心理学の用語で、その社会の構成員である集団が、合理的に是非を判断しないまま、特定の時流に流される事を指す。時流に乗るよう働きかけても抗う者は排除される（斉一性の原理）が、冷静になって考えれば、反省するが多い」(Wikipedia)

熱の入りすぎた応援。まるで発狂しているかのような集団お祈りの場面。
礼拝中の「アーメン！」「ハレルヤ！」の嵐。

摂理時代にこんな場面をたくさん見てきました。

人がいると心強いからなんでもできるような気になる。でもそれがいつもいい方向に行くとは必ずしも限らない。慣れた人なら簡単に集団心理をコントロールすることだってできます。

摂理の指導者の中にもそういう人たちはいました。

むしろ集団心理をうまくコントロールできる人が指導者の中でも尊敬される指導者でした。

祝福式に出た人から直接聞いたことがあります。「ねるとんみたいにして選ぶというのにすごく抵抗があった。でもみんながそのように行う場にいたら自然と嫌ではなくなった」と。集団の中で、「ねるとんに抵抗がある」という彼女の意思は消されたわけです。

このようにあなたたちの個性や物事に対する感情は日々消え去ってっていきます。

私たちは会社や学校でも意思や個性を消されていく場面があるのかもしれない。

しかし何にどうやって消されるのかが問題です。会社は人生の一部です。ですが摂理はあなたがたにとって人生の全てです。

人は人と同じでありたがる存在です。周りのみんなと違う行動をとっていれば、みんなにあわせようとする本能が働きます。

あなたが人生全てをかけた組織にいるならば、その組織が正しくない、あなたの人生に保障はないということです。

もうこれは「いい人だから」「あやしくないから」という問題ではありません。

あなたの一度しかない人生全てがかかった問題です。

今摂理と、あなたの周りには何の問題もないように見えるでしょう。

でも今後あなたが摂理にい続けることで人の上に立つ立場となり、

組織の様々な裏側を知ったときに、また今後よくない方向へ暴走していったとき、組織を止める自信があなたにはありますか？

Wikipediaにもうひとこと書き添えてありました。

「一般に、個が確立されていない社会や、精神的に未成熟な子どもにはこの傾向が強い」
摂理にいた頃の私は確かに精神的に未熟だったと今思います。

【10】迫害の概念

今回はひとりひとりの心ではなく、摂理の組織体質に対してです。
これは広い意味で組織にかけられたマインドコントロールではないかと思っています。

さて、迫害とはなんでしょうか。

【5】でもふれたように、摂理に対する報道全てを迫害だと摂理では言っています。
また家族が摂理メンバーに「そんなところはやめなさい」と言っても迫害と言います。
要するに摂理という組織は、摂理に対して反対意見を持っているものは全て迫害と処理します。

組織とは反対意見を排除するだけでいいのでしょうか？

報道なりホームページなり、あなた方が悪口だとしか判断しないこれらの動きや数々の意見は、摂理に対する提言であり警告であり愛情です。
また親の愛であり、脱会者からの情であり、ご協力してくださっている方々からの使命感や正義感や人類愛です。

それらたくさんの人の様々な思いや意見の全てを「迫害」の一言で片付けることで、
対処もせず、それらの思いに応えることもできなくさせているのが今の摂理の状況です。

実はそうすることで、あなたがたの思考は完全に停止させられているのです。
本来組織というものはそれ自体が健全な方向へすすむために、全ての意見を取り入れることはできなくとも、外部からの意見を参考に組織について考える必要があります。
場合によっては変えないといけないこともあると思います。
それができていない組織があるならば、それはトップの怠慢のためです。
組織を変えるためには、末端の人ではなく、トップ、またはトップ集団の意識改革が絶対に必要です。

摂理では外部から様々なことを言われ、それは本来議論しなければならないことなのに、
「社会が摂理を理解するか、しないのか」
「社会がわかってくれないのが悪い」という単純な問題にすりかえられています。
そして摂理という組織は思考しなくなります。

仮にあなたが仕事に、理にかなった、明らかに会社の利益にもなるような業務をしているのに、周りの人から誤解され、「そんな業務は役に立たない、やめてしまえ」と言われたとします。

あなたはあなたが関わっている業務がいかに正当性があり、いかに会社の利益を生むか、あなたが正しいと信じて行っていることに対しては一生懸命説得するはずですが、

それを説得もせず「自分が正しい。わかってくれないほうが悪い」と黙っているなんてことがあるのでしょうか？

なぜ反論するのか。それは自分の業務や自分の主張に自信があるからじゃないですか？

今まで摂理は何か自分たちの正当性を主張するための行動を起こしたでしょうか。私の知る限り皆無です。昔週刊ポストの記者に一度だけ答えてくれたことがありました。でもそれも「知らぬ、存ぜぬ」だったし、質問に答えただけで、組織として自ら動いたことは一度もありません。

今まで摂理は、摂理のメンバーにしか弁解を行っていません。なぜでしょうか？

摂理のメンバーならば摂理の主張を理解できるからです。

言い換えます。摂理の正当性を主張する理論は摂理の人にしかわかってもらえないのです。

「摂理の教義は正しい」

ならばその教義を一般人にもわかるように説明し、ホームページでも作ってオープンにしたらどうですか？それが真に正しいと判断されるならば、また求める人がいるならば、きっと摂理に入りますよ。

サークルと嘘をついてとりあえず入れておいて、慣れた頃に聖書の話を持ち出すのは、あなたがたの教義に自信がないからです。

「教祖は性的被害と言われるようなことはやっていない」

ならば堂々と主張したらいかがですか？

テレビや新聞でとは言わない、せめて私の前に来て。

あなた方が出てこれられないのは、教祖の潔白に自信がないからです。

「私たちが真理だ」

ならば組織の名前くらい名乗ってください。ネット検索したら迫害がばれるという理由で名乗ることをやめる団体に真理があるのでしょうか。

名前を名乗らないのはあなた方は組織の存在自体に自信がないからです。

「社会は何もわかっていない。摂理を誤解している」

当たり前じゃないですか。

今まで一度たりともわかってもらえるための説明努力をしてないからです。

説明できないのは、摂理に所属する自分に自信がないからです。

摂理を一生懸命に走っているように見えて、実はその裏にある自信のない自分に気づいてください。

今回の報道でも、こちらから再三インタビュー依頼したにも拘らず、摂理幹部たちは誰一人として出てこなかった。

テレビ放映・新聞報道されるという情報をつかんでいたのに、あなたがたがやるうとしたことは放映のみみ消しだけです。

もみ消しに失敗した後は摂理メンバーへの言いくるめと逃亡です。

私たちの主張が嘘だと言いたいならば、摂理内部でこそとやっていないで、新聞・テレビ報道に公式に声明を出すなり記者会見を開くなりなんなり、まず表に出てきたらいい。

これだけの報道でも幹部は逃げ隠れしているだけ、しかも国外逃亡。
そんなことで世の中に理解してもらおうと思っているほうがめちゃくちゃな話です。
理解しよう、されようと思うならば、絶対に表に出てくる必要があるんです。
理解してもらわなくてもいいと思うならば、そんな「真理」は広める価値はありません。

そして考えてください。
教祖の行為ばかりがクローズアップされる中で、あなたがたが世界の救いのためと思って行動し、そして世界の救いのために祈っていることは知っています。
ですが、あなたが救いたいと思っている世の中の人たちは、あなた方を求めています。
つらいですが、まずこの事実を認識してください。
嘘をつかないと人を集めることができていることがその証拠です。
嘘をつかなくても、その教義や主張に魅力があれば人は自然と集まります。

日本指導者はこれを認めた上で今後の摂理の歩むべき道を探してください。
1500人ほどの人生を預かる者として当然の責任だと思います。

【 1 1 】 仲間を敵に変えるとき

仲間が一瞬にして敵になるときもたくさんの仕掛けがあります。
摂理において（摂理でいう）迫害を食い止める立場を経験し、また自分自身が迫害者であると言われている、両方の立場を知るものとして、迫害に関する個人の心の状態を見えます。
私が摂理で社会人のリーダーをしていたころ、うちの教会の社会人の一人が摂理を出ました。
教祖の性的行為や教義の矛盾を言っていました。
Aさんは他のメンバーにこのことを広める可能性があった。
教会のリーダーミーティングが開かれ、とにかく最小限の影響にとどめるようにと言われ、その日のうちにメンバー全員、特にAさんと仲がいいメンバーに、Aさんと接触しないように言いました。
理由は「家庭の迫害にあってしまい、こちらから連絡をとるとAさんの立場も悪くなる」という理由にしるとのことでした。これでメンバーがAさんに連絡をとることもありません。そうやって教会はみんなの心を操作しました。
ただすでにAさんはBさんにこのことを話し、Bさんは教会リーダーに「もう摂理を出す」と言っていました。教会リーダーは「最後にあつこに話してみて。彼女は迫害関係のことをよく調べているから」と言いました。その後すぐにリーダーから私のところに電話があり、「Bさんにそっちに電話するように言ったからよろしく頼む」と言われました。

当時私は摂理が社会からどう見られ、教祖がどう言われているかなどが知りたく、外部資料を徹底的に調べていました。そのせいで少々信仰が揺らいだ時期があります。

どう見てもネットや報道が嘘をついているとは思えなかったからです。

このような危険な団体にいるわけにはいかないと思いました。

明らかに調子が悪くなった私は、日本の指導者である例の彼女に面談されたことがありました。

いかに摂理が真理かということを説明され、結果その面談で納得してしまい摂理に残ったという経緯があります。

ただその後も「見るな」と言われていましたが、やはり資料は全て調べていました。

摂理が社会からどのように思われているか、やめた人がどう思っているのかを知る必要がありました。「川島先生のページ」「2ちゃんねる」などには大変お世話になりました。

しかし不思議なことに、今まではそれらを見ればみるほど摂理を疑っていたのに、面談以降は、逆にそれら報道などに反論するための武器を自分の中に整えていき、報道やネットのどの部分を攻められてもなんとでも答えることができるようになっていました。

今思うと、そうすることで自分を納得させようとしていたのでしょう。

現在の摂理にも私と同じような人がいるかもしれません。

話を戻します。そしてBさんから電話がかかってきました。

「もう摂理を出る。でも最後に、教祖の報道についてどう思っているか聞かせてほしい」と言われました。

報道が嘘で、いかに教祖が正当であるかということ、日本の指導者の彼女からの面談を思い出しながら、また資料の一部分(報道が間違っているところ)だけを使って説明しました。

Bさんからのどんな質問にも答えられる自分がいました。

そして「先生を知らない報道の人と、先生を実際に見たあなたの確信と、どちらを信じるの？」って最後に聞きました。

何年も摂理に時間もお金も投資してきたのです。人は自分や摂理を信じたいに決まっています。結果Bさんは摂理に残りました。

私のその当時の心理状態は、「命を失わせてはいけない」という心と「リーダーの期待にこたえたい」という思いでした。自分が言っていることが嘘だとわかっているのに、命を救うためなら罪悪感はありませんでした。Aさんのこともとても好きでしたが、命を救うためならAさんは私にとって敵でした。

そして「命が残った」、また「指導者の期待に応えることができた」という達成感は、嘘をついたという罪悪感よりはるかに上回っていました。

私が脱会支援を始めた理由のひとつは嘘について引き止めてしまったBさんを摂理から出すため(ちなみにもう出られました) 罪悪感を出て初めて起こりました。

だから今も必死に嘘をつき続ける摂理指導者の気持ちは、私は誰よりもわかるつもりです。

ただ知っておいてください。

嘘をつき続けた結果、気づいたときに後から襲ってくる罪悪感は相当のものです。

脱会者の誰もが摂理でついていた嘘を振り返り、心沈むときがあります。

運命を変えてしまった人のことを思うときがあります。

そこからは絶対に逃げずにいようと思ったら、今私はこうなっちゃいました。

そして今も摂理に残した人を気にされている脱会者の方がいるならば、

これだけの報道があっても気づかないのはすでに自己責任の部類です。

あなたはもっと楽に生きてください。

摂理での小さな嘘が大きな嘘を生みます。ちょっとだけ人の心を変えてみたつもりが、その人の人生を大きく狂わせてしまいます。

そういうシステムが摂理にあるということを、摂理の人たちは絶対に忘れないでいてください。

【 1 2 】 仲間が敵に変わるとき

私が摂理を出ると言った時も、立場が変わっただけで全く同じでした。

私が摂理を出ようと思ったのは、あるとき突然でした。それこそ目が覚めたという表現が正しいと思います。

教祖から被害を受けた直後ではありません。その後1年間摂理にとどまりました。

最後の1年間は疑いながらだったと思います。たぶんいろいろな偶然が重なったことが大きかったと思います。このときのことはまた後で・・・。

まずAさんに連絡をとって謝りました。あの時はとんでもないことをしたと思いました。そして当時のことを思い出しながら、今から私も当時のAさんと同じ状態になることを覚悟しないといけないと思いました。

まず私が出たあと、絶対に摂理に都合がいい理由をつけられるだろうから、言える人から言っていました。途中でカットされるまで言い続けようと思いました。意外と早く連絡はカットされました。

日本の指導者の彼女に夜中言いに行ったとき、彼女は「1週間お祈りしてから答えを出して」と泣きながらおっしゃいました。だから信用してしまいました。

でも実際はもうその日からメンバーへの連絡はつきませんでした。

私は一夜にして摂理の敵になっていました。

なんとか摂理の真実に気づいてもらわないと、という思いは瞬間で萎えてしまいました。

もしかしたら、何よりも自分が傷つくことが怖かったのかもしれない。

私が共同生活していたところには誰も近づかないようにされていて、住んでいた人もどこかへ行ってしまっていました。代わりに韓国留学していた元教会指導者が帰国し、1週間ずっと私の家にいました。

私を止めるでもなく、別に祈ってくれるでもなく。おそらく監視でしょう。

私とその1週間の間1日だけ実家に帰った時には、私が仲良くしていて、摂理を出る事情を話した子を泊めさせ、摂理に残るよう説得していました。

朝一度帰宅して出会ったときの気まずさといったら。もうなんでもありなんだなと思いました。

社会人の子たちへの説明はこうでした。「彼女は家庭の迫害にあっているから連絡してはいけない」そっくり一緒でした。

それを信じて私のために祈ってくれているみんながいることに、やりきれない気持ちになりました。私も同じことをされて、初めて自分の罪の大きさに気付きました。

「摂理の仲間は家族のような仲間」

「お互いいつも一緒にいるからよくわかっている」

「素晴らしい人たちに出会えた」

そう言い続けていた自分があほらしくなりました。

今まで何も見えていなかったと思いました。

一生の仲間と思っていた人たちは一瞬で私を敵とみなす人たちです。

心底憎んでいるわけではないのは自分もそうだったからわかります。

ただ敵にしないと彼らの立場や信仰が危ないのです。

真実を知ったものを敵にすることで組織が守られ、自分たちの信仰が守られるのです。

摂理は今までそうやって、仲間を増やしながらか、傷つく人も増やしていきました。これからもずっとそうやっていくことでしょう。

仲間を切ることでしか自分たちを守ることができない摂理ってなんですか？

そうされることで傷ついている人がたくさんいることを知っていますか？

いまだに悲しみ、苦しんでいる人がいるのを知っていますか？

私が相当なサタンだという認識であることは、いろいろな人から聞いています。

サタンと言われれば言われるほど、恐れられるほど、私は自分の主張に自信が持てます。

そこまで鍛えられました。何を言われても平気です。

ただ、そうじゃない人がたくさんいます。

あなたがたの真理が人を幸福にするものであるならば、自分たちだけ幸福になるのではなく、あなた方が排除した人たちの幸福も考えてみてください。

「神様の歴史のため」「いのちのため」という大義名分で傷つけられる人をたくさん出してしまうのも、心が摂理という組織に支配されているが故です。

あなたたちには「摂理という組織」「1000年後の未来」「世界」「霊界」「神様」ばかりを考えすぎて見えていないものがあります。

あなたの身近にいるたった一人の人です。

そこに難しい教義や、理論や、マインドコントロールの理解、真理の追及云々はいりません。

あなたがその人の立場になって考えてみるだけで、一人を不幸にさせずに済みます。

【13】マインドコントロールを解くには

私が摂理を出ようと自分で思い立ったのには、たくさんの助けがあったからだと思います。いろいろな事情が重なってあるとき急に目が覚めました。

マインドコントロールが解けるようになるには、きっと摂理にとってマイナスとなる考えや出来事が必要だと思いますが、それはきっとひとつではだめなんでしょう。このときびっくりするくらい同時期にたくさんおしよせました。2002年前後の頃です。

まず祝福式の資格を得てしまい、出ないかと言われてしまいました。

祝福式にはどうしても抵抗がありました。2,3時間のコンパでさえ耐えられない私が、2,3日のねるとん合宿に耐えられるとはとても思えません。

いや、それだけじゃなく、その2,3日で決めた相手が絶対的なんです。

神様が決めた相手という名目なのに簡単に破棄できるわけがありません。

また2002年のテーマが「ひたすら伝道」とかで、日曜の礼拝とスポーツの間のわずかな時間も伝道に行き、毎日伝道と伝道ばかりになりました。

被害にあって以来、私はほとんど伝道が出来なくなっていたので、「伝道、伝道」と言われる毎日はずらい日々でした。でもそれでもなんとか摂理で生きていました。

そんなとき面倒を見ていた社会人のある人たちのあまりにも無責任でいいかげんな態度が、私の仕事に多大な影響を及ぼしたことがありました。それが2日連続で続きました。こっちもただでさえ2,3時間睡眠でへとへとなのに、リーダーだからと朝起きれない人を起こしに行き、信仰が守れるように共に祈り、「さんにつまずいた(納得いかないとかの意味)」というグチを聞き、という毎日で、一生こんな子守みたいなことはできないと思いました。

また教会を2つに分けるという話があり、内々に「どちらか一方のリーダーだからね」と日本指導者の彼女に言われました。教会リーダーになったら意地でも伝道しないとイケない、そしてリーダーになったらもう摂理をやめられないと思いました。

そんなことがらがぼつりぼつりと訪れて、ある時ふと目が覚めました。

「摂理出たらいいやん」って選択肢が初めて登場しました。びっくりしました。

被害にあっても出られなかったのに、ある日突然目が覚めたんです。それまでは「ついてきてる子たちを置いていけない」とか「摂理こそが真理」とかそんなこと言ってたのに、です。

それからは今までと同じ生活をしているのに、摂理に対してどんどんいろんな矛盾点や疑問点が見えてきました。見続けていたネットや報道も全て受け入れることができました。でもどこかでまだ5年間いた摂理に、そして摂理の人達に対する未練がありました。

そんなとき2年ほどずっと導こうとしていた新入生とご飯を食べに行きました。

摂理を出ようかと考え始めた時で、「もう伝道しなくてもいいんだ」という思いがあったんでしょう。神様につなげる話をする必要はない、証をしようと気負うこともない、救おうと思わなくてもいい。それはとても楽だった。

今までこんだけしゃべれたかというくらいしゃべりまくりました。3時間ぶっ続けで。

2年間ずっとつきあってきたはずなのに、この3時間で初めてその子を一人の人間として認識できました。

摂理での人間関係が全部嘘もののように思えました。

私は摂理の人数を増やすために人と出会うのではなく、その人を知るために出会いたいし話したいと思いました。そしてそれが普通であることに気づきました。

絶対に摂理を出て間違いであるはずがないと思いました。これで最後まで残っていた摂理の人たちへの未練も切れた感じがしました。

マインドコントロールを解こうとするにはきっとひとつのことだけではだめなんです。いくつかのものが重なる、そして持続することが大切だと、今改めて思います。

私の場合このときほんとに偶然にいくつもの要因が重なりました。それらの要因が次々と訪れ、そして持続しました。これは私の今までの人生最大の奇跡と言ってもいいくらいです（摂理はこれをサタンの巧妙なやり方だと言いますが・・・）

おかげで目覚めることができました。

このような偶然が重なることは本当に奇跡だと思います。

この奇跡が起こらないならば、マインドコントロールを解くには保護説得が有効であると私は思っています。

保護説得に関しては賛否両論あるので今まで意識的に言明を避けてきました。ちなみに摂理では拉致監禁と言っています。脱会者の中にも反対意見は多いです。私も当初は完全な反対派でした。ですが、マインドコントロールを解くのに、いくつもの情報そして持続性が必要だとわかった私は、保護説得に「ひどさ」や「人格無視」などは感じません。

むしろ親御さんの子供に対する無限の愛情を感じます。

もちろんこれがベストの方法ではありません。普通に対話できるならばそれが一番です。

ですが、保護説得なしにいくつもの情報を持続的に与えることは今の摂理の状況からすれば非常に難しいのです。

親御さんが好きでやっていると思ってますか？みなさん泣きながらですよ。嫌われるかもしれない不安、家族崩壊になるんじゃないかという不安に押しつぶされそうになりながら、泣く泣くそうするしかないんです。

摂理がいうようにただ部屋に閉じ込めているんじゃないありません。

今まで開いたこともない聖書を読んで、摂理について一から勉強する。

教義や教祖、摂理にいる人の気持ち、マインドコントロールについて、全部です。

そういう親御さんの愛情があなたにわかりますか？

牧師さんやカウンセラーが大金もらって喜んでやっているんだと思っっていますか？

重ねて言いますが、もらうのは実費のみです。そしてとてもつらい仕事です。

家族と悲しみや不安を共有し、常に家族とともに歩み、長い間アドバイスを送り続ける。

イエス様を愛し、聖書を信じるという人たちからしたら絶対に開きたくもない30講論を一生懸命勉強する。

それがどれほどしんどくつらい作業かわかりますか？

ものすごい根気と執念と、そして何よりも彼らの愛情、損得のない人間愛がないとできないことだということがわかりませんか？

摂理が様々な手法を、意識してもしなくても使って、メンバーを精神的に摂理にとどめていることはずっと述べてきました。摂理が「家族に相談しておいで。その結果摂理に残りたいなら残ったらいいし、出たいと思ったら出たらいいんだよ」と言ってくれば話は何もややこしくはならないんです。

「摂理を反対する家族には近寄らないほうがいい。適当に嘘でごまかせ」

「親を通してサタンが働いている」

「迫害牧師には大金を払っている。親も騙されている」

なんて誤った思想を植えつけるからです。

保護説得に乗り出す親御さんやカウンセラーを批判する前に、家族を捨てさせたあなた方の非情さを省みてください。あなた方が意識してもしなくても、あなた方を含め摂理メンバーにはマインドコントロールがかかっており、正常な判断ができなくなっており、摂理でしか生きられないような思想が入っています。指導者の言うがままのはずです。

摂理に絶対的な真理があり、教義も、教祖にも絶対的な自信があるなら、どうかメンバーを一度でいいから解放してください。本当に摂理が必要ならば戻ってくるでしょう。

教会リーダーの誰でもいい、あなたがやれば摂理は変わります。

【14】あなたの人生はあなたのもの

さて、今後のことです。

あなたは自分の中の「摂理コーナー」しか閲覧しないし、認めません。
そしてそうあり続けるならば、今後解決できない問題がたくさん出てくると思います。
結婚のこと、子供のこと、子供の教育のこと、老後のこと。
またはあなたが病気になったとき、事故にあったとき。

（摂理人は守られているから大病にはならないし、事故にもあわないし死なないと教えられてますよね？そういう方々が日本にもいます。摂理にとっては都合が悪いから隠されているだけです。

大きな、悪意ある情報統制です。自分たちの仲間の生死に関わることでこれです。人として断じて許せません。情報統制に関わった方々は大いに反省してください。そして今後も絶対にやめてください)

年をとってから、「自分の心の大部分を占める「摂理」が間違いだった」とわかる 때가みなさんに絶対にくると私は思っています。このような子供だましの手法が今後何十年も続かずはない、そして40歳、50歳になれば気づくことだってあるでしょう。

そのときあなたは、ずっと昔に屋根裏部屋に追いやった書物を果たして簡単に取り出すことができるのでしょうか。

一般にマインドコントロールを完全に解くには、マインドコントロールにかかっていた年数必要だと言われています。

20年前に20歳で摂理に入った人は、60歳にならないととけません。

10年前に20歳で摂理に入った人は、40歳にならないととけません。

しかし私は一概にそうとは言えないと思っています。

よく「時間が解決する」という言い方をします。

ほんとは「時間」ではありません。ただ時間が過ぎるだけでは絶対に解決しません。

その時間の間、確かにあなたが、会おうべき人に会い、話すべきことを話したという行動があったから解決できるんです。

私はたくさんの愛情深い人に出会いました。そしてたくさん話しました。

行動すれば20年が10年にも5年にもなるでしょう。

まずは失いかけていた屋根裏部屋の本たちを引っ張り出してください。

そのためにできることは、

「なるべく摂理以外の人と話す」

「日々の生活から御言葉を取り除く（少なくとも御言葉を使わずに判断する）」

「なるべく社会の情報を仕入れる」

「摂理に関する報道を指導者の解説なしで見してみる」

そして、人の問題を解決するのはやっぱり人だと思うのです。

「御言葉を読んで判断する」祈る」という前に、たくさんの人の意見や話を聞いてください。

摂理の人の話だけでなく、もちろん摂理以外の人の話も、です。

私は摂理のように「この人の話を聞いてはいけない」などとは言いません。

納得いくまでいろんな人の話を聞いて、そして聞くだけでなく、心と頭全部を使って考えてください。

そしてご家族のことを思ってください。

仮に私があなたのカウンセリングをしますとします。もしあなたがあまりにも頑なで生意気で、何を言っても聞かない人ならば、私は途中であきらめることができます。

逆にあなたが摂理を出ると仮定して、それを摂理の人に告げたとしましょう。

摂理の人たちも一定の線を越えればあなたをあきらめます。

ですが絶対に最後まであきらめないのはご家族です。

あきらめないんじゃないなくて、あきらめることができないんです。

そんな唯一の存在であるご家族の存在と苦しみにどうか気づいてください。

そしてあなたがそんなご家族を今後も悲しませることがないよう祈っています。

最後に、あなたが摂理を離れても裁かれることは絶対にありません。

「摂理を出ると裁かれる」という本があなたの摂理コーナーに置かれてしまったにすぎません。

摂理を出て、もし「裁かれた」と感じることもあるならば、それはあなたが行ってきたことに対する結果です。

今は目に見える裁きはなくとも、死後裁かれて地獄へ行くとお考えですか？

今まで地獄に行った人、天国に行った人の話を聞いたことがありますか？

聞いたことがないから存在しないんだ、なんて言いません。

存在するかどうかは死んだ人以外は誰にもわからないのだから、それは自分が信じるかどうかの問題です。

もし死後の世界があり、摂理にいたら救われて、組織を離れたら裁くという神様なら、そんな神様なんて必要ありません。

私は、人生は一度きりの、幸せになるための人生だと思っています。

自分が幸せになるう、そして周りの人を幸せにしよう、そう考えて今行動するならば、そんな人が「摂理にいない」という理由だけで裁きにあうと思いますか？

裁きが怖い人がいるのならば、そういう人たちは「裁かれるはずはない」という自信を持って行動すればいいだけです。

そしてその自信はいつも水道から流れ出てくるように聞かされる御言葉の洪水の中から得るものではないし、

摂理のように、決められた場にはいないと得られない自信でもない。

あなたが考え、あなたが行動して、また、もがいたり苦しんだり、楽しんだりしながら得ていくものだと思います。

終わり

最後に

これを通して摂理のみなさんに言いたかったことは「マインドコントロールについて知ってください」ということです。

神様が本当にいるのか、天国はあるのか、摂理がこの世の唯一の真実なのか、摂理を出れば裁かれるのか、そんなことは立証されていませんしできません。

なのでこれらのことはあなたが信じるか信じないかの問題です。

しかし「マインドコントロールとは」「摂理が社会からどのように言われているか」という疑問は検証できます。「信じる」「信じない」で片付けてはいけない問題です。

検証できないものは信じることに委ねてくださってけっこうです。しかしできるものは検証すべきです。

それもちっとネットをいじるだけで検証できます。本を読むだけでわかることです。

「指導者が見るなと言ったから」。それは言い訳にもなりません。

あなたの人生はあなたのもの。あなたが責任を持って検証すべきです。

摂理の人たちへ、これだけはわかってください。私は摂理や教祖が憎くてやっているのではありません。私がホームページやマスコミさんを通してやっていることの目的は、教祖の逮捕が主ではありません。確かに教祖が逮捕されれば被害はなくなります。逮捕されるにこしたことはありません。

ですが一番の目的は、教祖のところへ連れて行かれるまでに自分自身で気づくことができる人を増やすことです。教祖に被害にあわない人を作ることです。摂理に入ってしまう人を作ることです。摂理の中から外を見ることができて、気づいて自分で行動できる人を作るためです。

かぜをひいた人に飲み薬でなんとかするのではなく、かぜをひかない体質を作りたいのです。

被害者は告訴ができない臆病者だと批判されても、やり方が生ぬるいと言われ続けても、変えることはできません。教祖の逮捕は必要です。ですが、今のままだとサタンの妨害によって迫害されたヒーローとして捉えられるだけです。教祖の逮捕だけでは摂理というものは何も変わりません。

教祖の逮捕よりもあなた方の人生を守りたい。また教祖の逮捕よりも被害者たちを守りたいのです。そしてそのためには脱会者の力が必要です。

これを迫害と捉えているみなさんにはなかなか伝わらないと思いますが、摂理なんてどうなってもいいし、摂理の人たちがどう生きようが関係ないと思えば、私たちはこんな活動せずに毎日楽しく生きてます。

私を悪くいう摂理の人に対して、そしていろいろ批判する人たちに対しても、なぜか腹が立ちません。足りないところだらけですが、自信を持ってやっていることです。

とにかく摂理の実態や被害者の実態を知って判断してもらいたいのです。

もし摂理という組織が急に崩壊したとしても、摂理の人たちは路頭に迷ってしまうだけです。摂理という組織がなくなれば解決ではない。みなさんが自分で気づいて判断して摂理を離れるということが大切なのです。

時間が解決するんじゃなくって、たくさんの出会いが解決するんだって書いたのは、脱会時にカウンセリングを受けなかった私が、今までを振り返ってみた実感です。

ずっと励まして支えてくれた全ての人、私を理解してくださった人、私に出会ってくれた全ての人に、そして私をいつも守ってくれているとっても偉大なものに、感謝です！

最後に、今ももがきのさなかにおいて、いろいろなものと戦い続けているたくさんのご家族、多くの方々へ、心からのエールを送ります！！